

第3章 計画の基本的な考え方

第1節 基本理念

『ぬくもりで支えあう 思いやりのまちづくり』

人と人とのつながりが薄れつつある中、高齢者や子どもたち、障がいのある人は地域を構成するかけがえのない一人であり、すべての町民が住み慣れた地域や家庭においてお互いに温かな思いやりの心を持ち、助け合い支え合うことが重要です。

助け合い支え合うということは一方向ではありません。「誰かが誰かを」だけでなく「誰もが」、「どこかで」ではなく「どこでも」といった双方向の関係を深められることが住み続けられる未来の地域社会を創り上げていきます。

第2節 基本目標

1 みんなで『寄り添う』をつくる（地域福祉の共通課題への取り組み）		
施策	①相談機能の強化推進	(1)包括的に受け止める相談体制
		(2)気軽に相談できる体制づくり
	②情報の発信伝達の充実	(1)わかりやすい情報の伝達
		(2)福祉に関わる教育、啓発を進める
2 みんなで『つながり』をつくる（地域福祉を支える住民・団体への支援）		
施策	①担い手育成の推進	(1)人材育成の推進
		(2)ボランティア活動の活性化
	②参加機会の充実	(1)交流の場をつくる
		(2)協働の福祉事業の推進
3 みんなで『安心』をつくる（地域福祉を進める包括的支援体制の整備）		
施策	①支援体制と福祉サービスの充実	(1)地域での見守り、助け合いを進める
		(2)健康づくり・介護予防を含めた福祉サービスの充実
	②いのちを守る支援の推進	(1)生活困窮者への支援
		(2)複雑な課題を抱える人の命や権利を守る支援
		(3)災害に備える体制づくり